



雪小だより 2月号

令和 8年2月 2日
大田区立雪谷小学校
校長 大曾根 努

「江戸の子育てしぐさ」から学ぶもの

副校長 刑部 潔

年が明け、早くもひと月が過ぎ、2月となりました。厳しい寒さが続いているようですが、こどもたちは、休み時間や昼休みには校庭を走り回ったり、学習に集中して取り組んだりして、元気に過ごしています。暦の上では、もうすぐ立春を迎えます。日差しも少しずつ長くなり、寒さの中にも春の訪れを感じさせてくれます。

さて、江戸時代には、こどもを育てる際に、教育という言葉を使わずに、「子育てしぐさ」として成長や自立を手助けする「養育」「鍛育」「訓育」という言葉が使ったと言われていました。教えるだけでは、いつまでも上下関係が続き、自立できないという理由だそうです。江戸の寺子屋では、「読み、書き、そろばん」に加え、「見る、聞く、話す、考える」に重点を置き、学ぶ内容は、実際に生活に役立つ実学が中心です。いつ社会に出ても立派に独り立ちができるようにという事を一番に考えていました。寺子屋の試験は一刻(2時間)黙って聞く(観る、聴く、話す、考える)だったそうです。また、「お心肥」(おしんこやし)といって、心(品格)を肥やすことを大切にしていました。

江戸時代の教育方針は、年齢が上がるにつれ「子育て養育5段階」として「三つ心、六つ躰(しつけ)、九つ言葉、十二文、十五理(ことわり)で未決まる」とされていました。

3歳「三つ心」 喜怒哀楽、我慢することを悟らせる。

6歳「六つ躰」 していいこと、悪いことを知る。

9歳「九つ言葉」 他人にあいさつ、正しい言葉遣いを覚える。

12歳「十二文」 文章を書けるようになる。(文章とは、手紙・報告書等を指す。)

15歳「十五理」 理(ことわり)、経済・物理・科学・化学などの森羅万象が実感できるようになる。

ここで「心、躰、言葉、文、理」は順番が重要で、最初に心を取り上げていることは、現代にも通用して、実によく伝えていていると思います。大人として、これらのことを参考にして、こどもに対する言葉掛けやこどもに示す自らの行動、自分の仕事ぶりを見せるなどして、子育てに励みたいものです。

学習とは、まねて学び、繰り返し習います。こどもは大人の良いことも良くないこともまねをします。大人がこどもにとって良い手本になり、たくさんまねしてもらえよう、常に心掛けていきたいと思っています。

雪小の窓

雪小・音楽会 及び 学校公開

音楽会は、日常の音楽の学習の成果を発表するとてもいい機会と捉えています。こどもたちの「学びの結晶」を、ぜひ保護者の方々に鑑賞していただければ幸いです。

保護者鑑賞日は、2月21日(土)です。詳細は、裏面の「音楽会の見どころ紹介」や音楽会プログラムをご覧ください。また、当日午後は学校公開を開催します。ご来校する際、PTA 配布の名札とタスキの着用をお願いします。

2月の目標

健康に気をつけ

じょうぶな体をつくろう

1	日	
2	月	放送朝会
3	火	
4	水	学習タイム 安全指導日 午前授業 算数補習 (5・6年)
5	木	委員会 お話会トムテ (3年) 避難訓練 (火災)
6	金	運動朝会 (3年) SC
7	土	
8	日	
9	月	放送朝会 音楽会特別時程 (始) 読書週間 (始)
10	火	音楽朝会
11	水	建国記念の日
12	木	漢字検定 お話会トムテ (4年) SC
13	金	運動朝会 (2年) 読書週間 (終) SC
14	土	
15	日	
16	月	放送朝会 SC
17	火	音楽朝会
18	水	算数補習 (3・4年)
19	木	学習タイム 音楽会前日準備
20	金	音楽会児童鑑賞日 SC
21	土	学校公開 音楽会保護者鑑賞日
22	日	
23	月	天皇誕生日
24	火	振替休業日
25	水	放送朝会
26	木	クラブ活動 ステップタイム お話会トムテ (6年)
27	金	児童集会 SC
28	土	



SC・・・スクールカウンセラー

杉の子 音楽劇「そんごくう」

杉の子学級1～6年生全員で、歌あり合奏ありの音楽劇に取り組みます。5・6年生は役になりきってセリフや演技、歌で表現します。3・4年生は、劇中に出てくる効果音をさまざまな楽器を使って演奏します。2つのグループに分かれての掛け合いの歌や、そんごくうチーム・ようかいチームに分かれての合奏対決(?!)にもご注目ください。見てくれる人にも楽しんでもらえる音楽劇を目指して練習してきました。どうぞ温かい拍手をお願いします。

音楽会の見どころ

1年 合唱「夢みるジャンプ」合奏「聖者の行進」

1年生にとっては、全員で歌を歌ったり、演奏したりするのも初めてです。合唱「夢みるジャンプ」は、のびのびとした歌声で、歌うことの楽しさを全身で表現します。合奏「聖者の行進」は、鍵盤ハーモニカを中心に、木琴や打楽器が加わり、心が弾むようなリズムを奏でます。一人ひとりが役割を大切に、みんなの音を聴き合いながらつくり上げた、元気いっぱいステージをぜひご覧ください。

2年 合奏「ホールニューワールド」合唱「ドレミの歌」

合奏「ホールニューワールド」は、鍵盤ハーモニカの演奏に、木琴や鉄琴、打楽器の音を重ねて演奏します。こんなに長い曲を、たくさんの楽器の音を合わせて合奏するのは、初めてです。流れるような曲想を意識して、歌うように演奏できるよう練習をしています。合唱「ドレミの歌」では、自分たちで工夫した振り付けとともに、元気な歌声を響かせます。声を聴き合い、音を重ねて歌うことにも挑戦しました。

3年 合唱「いつだって」

合奏「スーパーカリフラジリスティックエキスパリドージャス」

合唱「いつだって」は、友達の輪が広がってきた3年生にぴったりの曲です。夢や未来に向かって前向きな気持ちを、元気な歌声にのせて届けます。合奏では、3年生からリコーダーの学習が始まり、音の出し方や、息継ぎの仕方などを学習してきました。「スーパーカリフラジリスティックエキスパリドージャス」では、リコーダーと様々な楽器を使って、テンポの変化を楽しみながら演奏します。途中に入る歌も見どころです。

4年 リコーダー奏「オーラリー」合唱「未知という名の

船に乗り」合奏「北海道民謡 ソーラン節」

リコーダー奏では、リコーダーの美しい音色と2つのパートが重なる美しさが聴きどころです。互いの音をよく聴き合って演奏します。合唱では、初めての二部合唱、合わせて歌うだけでなく、掛け合ったりハーモニーを作ったりする元気な歌声をお聞きください。合奏では、和太鼓を使って合奏します。民謡ならではの掛け声や旋律にご注目、全員で息をそろえての合奏にご注目ください。

5年 合唱「smile again」合奏「メリー・ウィドウ・ワルツ」

5年生は、10月24日の連合音楽会で披露した合奏と合唱をロングバージョンにして演奏します。優しく前向きな歌詞と、希望を感じさせるメロディーに「仲間への思い」「6年生に向けての希望」を乗せて歌います。かけ合うように歌う姿にご注目ください。合奏では、毎日元気にパワフルに過ごす5年生の、繊細な、優雅で流れる3拍子に心を弾ませてください。

6年 合唱「僕のこと」合奏「Paradise Has No Border」

6年生にとって雪小最後の音楽会。心をつにして歌い、演奏します。どちらの曲も6年生が選び、ここまで練習を重ねてきました。合唱「僕のこと」は、歌詞を分析し、歌い方を考え、歌声が美しくハーモニーを作り上げられるよう、練習してきました。合奏「Paradise Has No Border」は、スタイリッシュなラテンのリズムで、会場全体を盛り上げます。卒業式を除けば6年生の最後の舞台。ご期待ください。